

## 崖下の小舟

鏡に映る己が憔悴の顔をしばし見つめ  
断崖にただひとつ建つ掘立小屋の中  
疲れきった身体を汚れたベッドに横たえ

窓からは、これは風だ、そうに決まってる  
何処からか、海からだ、そうに決まってる  
きらきらと、こっちへおいでと誘う海原

小舟は崖の下に、波に揺られて・・・  
海は水なのだから光の宝石をきらきらと  
あたりまえのようにも、夢か幻のようにもたゆたい

鏡に映る暖かさに満ちた海面をしばし見つめ  
遥かに広がり、揺れる粒子の戯れの中  
浮き上がるほどの身体を光のベッドに横たえ

小舟は崖の下、波に揺られている  
飛び乗ろう、この窓から  
鳥のように飛べばいい！

きらきらと、己が美しさを誇らしげに海原は  
窓からは、楽しげにはしゃぐ風は  
崖の下、波と戯れてうっとりとする小舟は・・・

鏡に映る己が憔悴の顔をしばし見つめ  
断崖にみすばらしくも建つ掘立小屋の中  
疲れきった身体を汚れたベッドに横たえ

(1985.3.24)